

計算書類に対する注記（足羽更生園拠点区分用）

1. 重要な会計方針

(1) 固定資産の減価償却の方法

- ① 有形固定資産（リース資産を除く）
定額法によっている。
- ② 無形固定資産（リース資産を除く）
定額法によっている。

(2) 引当金の計上基準

- ① 徴収不能引当金
債権の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債券等特定の債券については個別に回収可能性を勘案し、回収不能見込額を計上している。
- ② 賞与引当金
職員の賞与の支給に備えるため、支給見込額のうち当期に帰属する金額及び当該賞与に係る法定福利費（当法人の負担額に限る。）を計上している。
- ③ 退職給付引当金
 - a) 福井県民間社会福祉施設職員退職共済会に係る退職給付引当金
職員の退職給付に備えるため、期末退職金要支給額を計上している。

2. 採用する退職給付制度

当拠点が採用する退職給付制度は、独立行政法人福祉医療機構の社会福祉施設職員等退職手当共済制度及び福井県民間社会福祉施設職員退職共済会の退職手当共済制度を採用している。

3. 拠点が作成する計算書類とサービス区分

当拠点区分において作成する計算書類等は以下のとおりになっている。

- (1) 足羽更生園部拠点計算書類
(会計基準省令第1号第4様式、第2号第4様式、第3号第4様式)
- (2) 拠点区分事業活動明細書（別紙3（㉑））
 - a) 施設入所支援【足羽更生園】
 - b) 生活介護【足羽更生園】
 - c) 短期入所【足羽更生園】
 - d) 日中一時支援【足羽更生園】
- (3) 拠点区分資金収支明細書（別紙3（㉒））は省略している。

4. 基本財産の増減内容及び金額

基本財産の増減の内容及び金額は以下のとおりである。

（単位：円）

基本財産の種類	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
土地	18,405,173	0	0	18,405,173
建物	739,684,827	770,000	32,032,251	708,422,576
合計	758,090,000	770,000	32,032,251	726,827,749

5. 基本金又は固定資産の売却若しくは処分に係る国庫補助金等特別積立金の取崩し
該当なし

6. 担保に供している資産
該当なし

7. 有形固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高
固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は以下のとおりである。

(単位：円)

勘定科目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建物（基本）	790,561,225	82,138,649	708,422,576
建物（その他）	32,388,086	8,264,623	24,123,463
構築物	73,062,821	21,905,718	51,157,103
機械及び装置	5,299,293	4,340,147	959,146
車輦運搬具	30,196,459	24,906,932	5,289,527
器具及び備品	139,827,936	60,900,603	78,927,333
合計	1,071,335,820	202,456,672	868,879,148

8. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益
該当なし

9. 重要な偶発債務
該当なし

10. その他社会福祉法人の資金収支及び純資産増減の状況並びに資産、負債及び純資産の状態を明らかにするために必要な事項
該当なし